



～いつまでも普通に楽しい暮らし～



『介護方法』の基礎知識

今年度は、市内の介護保険サービス事業所などに勤務する介護福祉士の皆さんの協力を得て、家庭で介護を行う際のポイントを伝えていきます。

今回は、介護用おむつの使い方や性能を確認してみましょう。



その人の状態に合わせて選びましょう。また、時間帯や体調などにより、尿や便の量は違います。その量に合わないおむつを使うと、漏れや皮膚トラブルの原因になります。

おむつの吸収量の目安に「○回分」と書かれていることがあります、排尿1回分＝約150ccです。

パンツタイプ：座ったり歩いたりできる人に適しています。
テープタイプ：寝た状態で過ごすことが多い人に適しています。

【内側に使うおむつ】
尿とりパッド：外側に使うおむつの中に入れて使います。

介護用おむつの正しい使い方

①介護用おむつは大きく2種類

【外側に使うおむつ】

パンツタイプ：座ったり歩いたりできる人に適しています。
テープタイプ：寝た状態で過ごすことが多い人に適しています。

②使う時に重ねすぎていませんか

おむつなどの裏面には防水シートが貼られているので、尿を通さず、重ねても吸収量は変わりません。むしろ、重ねすぎると肌との間に隙間をつくり、漏れやズレの原因となります。おむつや尿とりパッドを併用する場合は、それぞれ1枚ずつに留めるのがよいでしょう。

③ギャザーは堤防のような役割

尿が外へ流れ出るのを防ぎます。しっかりとギャザーを立て、脚の付け根に沿わせるようにして当てましょう。外側用おむつと尿とりパッドを併用する場合は、外側用おむつの立体ギャザーの内側に尿とりパッドが入るようにしましょう。

介護用おむつは吸収力に優れていますが、清潔の保持、肌トラブルの防止のため、最低でも1日に1回は交換するようにしましょう。



問 介護長寿課 ☎ 227-6067